

# What is?

# DTP

《 DeskTop Publishing 》  
(デスクトップパブリッシング)

DTP とは、出版物の原稿の作成や編集、デザイン、レイアウトなどの作業をパソコンで行い、データを印刷会社に持ち込んで出版することです。広報かすみがうらもDTPで作成しています。

# Which is?

# 広報紙？ 広報誌？

新聞紙が「紙」、雑誌が「誌」と使い分けられているように、タブロイド判など新聞紙型の場合は「広報紙」、A4判などの雑誌型の場合は「広報誌」と表記するのが、一般的な考え方。しかし、自治体では判型にかかわらず「広報紙」と表記することが多いです。A4判雑誌型のものが主流になっているため、厳密に言えば「広報誌」と書くべきなのかもしれませんが、「広報紙」表記は既に市民権を得ていると解釈できるでしょう。

# How is?

# 広報誌の表紙



↑平成17年4月発行「広報かすみがうら創刊号」では、市役所開庁式の様子が、平成22年3月発行「広報かすみがうら市誕生5周年記念号」では、合併の日の生まれた女の子2人が表紙を飾りました。



## 《 広報かすみがうら発行費用 》

| 年度     | 平均ページ※1  | 発行部数     | 金額※2<br>(一部単価)       |
|--------|----------|----------|----------------------|
| H21 年度 | 22.7 ページ | 14,800 部 | 3,932 千円<br>(22.1 円) |
| H22 年度 | 20.6 ページ | 14,800 部 | 3,541 千円<br>(18.4 円) |
| H23 年度 | 20.3 ページ | 14,700 部 | 3,124 千円<br>(16.3 円) |
| H24 年度 | 20 ページ   | 14,500 部 | 585 千円※3<br>(13.4 円) |

※1 臨時号発行のため、H22.23年度は年13回発行 ※2 一部単価は、小数点以下第2位を四捨五入 ※3 平成24年度6月号発行分まで

**情報収集＆わかりやすい文章**  
各担当部署から寄せられた情報やお知らせを整理し、どのように掲載するかを考えます。担当部署から依頼のあった文章を原文そのまま掲載するのではなく、市民の皆さんにわかりやすく、心を掛け作成しています。「お役所言葉は分かりづらい」とよくご意見をいただくことがあります。文章一つで、難しい内容のものがさらに難しく、楽しい話題もその

**広報かすみがうらの編集**  
報やお知らせ、取材したイベントなどを見やすく掲載するために、大切な作業となるのが「編集」です。



**レイアウトの工夫**  
市民の皆さんに必要な情報やお知らせもレイアウトの違いでまったく印象が異なります。タイトル文字の大きさや写真などを完成時の仕上がりを想定しながら美的かつ効果的に配置しています。レイアウトは「見やすい」と感じてもらえるようにさまざまな工夫を凝らしています。

楽しさが半減してしまうので、何度も読み返しながら「わかりやすい」「読みやすい」文章を考えます。

**③ 編集**  
各担当部署からの校正原稿を基に、市民の皆さんにわかりやすく読みやすい文章を考えます。撮影した写真を選び、パソコンでレイアウトします。

**④ 入稿＆校正**  
編集したすべてのデータを印刷会社に渡します。試し刷りの誌面の誤字や写真の微細な色合などをチェックし、修正します。

**⑤ 印刷＆製本**  
印刷会社で1万4500部が印刷・製本されます。

**⑥ 納品＆配布**  
広報誌の発行は毎月20日(土)の(祝)の場合は、前後します。職員が行政区ごとに袋にいれ、行政区長に配布(千代田地区・職員/霞ヶ浦地区・シルバー人材センター)します。その後、行政区長から各家庭へ配布されます。

## 特集 ■ 広報誌 《 広く知らせ、伝えるために 》

# 今、手にしている広報誌、読んでいますか？

平成17年4月に発行を開始した「広報かすみがうら」も今月号で88回目の発行になりました。今年度も「広報かすみがうら」は毎月20日に14,500部を発行し、行政区などをおして各ご家庭に配布しています。☎秘書広聴課 ☎内線 1151

**市**  
民の皆さんに読まれている「広報かすみがうら」は、平成17年3月20日の創刊号以来、月1回発行、A4判雑誌型20ページを基本とし、市政の動きや各分野の行政情報、地域の話題などを発信し、「市民と行政をつなぐパイプ役」としての役割を果たしてきました。

イベント会場や取材先で「広報誌にカラーページは必要ない」「広報誌はいくらで作っているの」といったご意見をいただくことがあります。次ページに平成21年度から今年度6月号までの発行費用を掲載しました。必要な情報を厳選し、読んでもらえるように

うなグレードを保ちつつ、編集作業の効率化などにより、一部の単価を抑制しています。今年度の単価(6月号まで)は1部あたり13・4円ですが、この単価を皆さんはどう判断しますか。「広報かすみがうら」は、できる限り予算をかけずに、市民の皆さんに親しまれる広報誌をお届けできるよう努力しています。

しかし、予算をかけずにとっても、市民の皆さんの大切なお金を使い発行している広報誌。まずは市民の皆さんに読んでいただくことが大切です。掲載した情報やお知らせが正しく伝わらなかつたり、読んでもらえなければ、発行の意味がありません。今後も、市民の皆さんに親しまれる広報誌を目指した編集に努めてまいります。

**「広報かすみがうら」ができあがるまで**

**① 情報収集**  
市の動きや市民の皆さんに大切なお知らせ、情報を各担当部署から集めます。

**② 撮影＆取材**  
広報係が撮影や取材をし、その場の雰囲気の記事にします。撮影では、イベントなどに参加されている方の生き生きとした表情を撮影できるように心がけています。



いろいろな場面で撮影をお願いすることがあります。そのときは、最高の笑顔をお願いします(広報係)

# 親しみやすく、 読まれる広報誌へ

↑合併前に発行した広報誌の縮刷版。大切に保管しています。(㊤)広報ちよだ縮刷版《第一巻》㊤霞ヶ浦広報縮刷版㊤出島広報縮刷版

より親しみやすく、  
読まれる広報誌づくり

## 現

在、ほとんどの自治体が発行している広報誌は、自治体ごとにさまざまなものが発行されています。特に、最近の広報誌は、写真やイラストをたくさん使い、視覚的に情報を伝える広報誌が増えています。

パソコンや携帯電話の普及などにより、デジタル媒体は情報量が紙媒体よりも多量であること、リアルタイムで情報が入手できるなど広報誌よりも優れた特性をもつようになりました。市でも、HPやメールマガジンを運用し、市の情報やイベント情報などを発信しています。

広報誌は、行政区などをおしてご家庭に配布される手軽さや掲載情報の全体をすばやく把握できる一覧性の特性があるため、市政運営に関心のない方でも、読んでもらえるメリットがあります。しかし、「〇〇条例の改正」「〇〇法の施行」などのように難しい表現を多用し、一方的に施政などをお知らせしても、文字の情報が目にとまるだけで、すべての皆さんに内容を理解・満足してもらうことは限りなく難しいことです。

「市民と行政をつなぐパイプ役としての役割を果たしている広報誌。今後も、市民の皆さんの元気な様子や活動を掲載しながら、「より親しみやすく、読まれる広報誌」になるように、皆さまからたくさんのご意見・ご感想をお待ちしています。



行政区へ加入していない方に広報誌を読んでもらえるように、市内公共施設や金融機関、一部コンビニなどにも設置しています。

知っていますか？  
「声の広報」

ボランティアサークル  
「キャッチボイス」

## 「録」

音前に読み込みをしめるようにしています。「写真のイメージを声で伝えることが難しいですね」と話すのは、ボランティアサークル「キャッチボイス」の皆さん。広報誌を録音・音訳し、視覚に障害のある方や寝たきりの高齢者などに「声の広報」を届けています。

☎ 社会福祉協議会

☎ 029 (898) 2527

また、朗読ボランティア「せせらぎ」の皆さんも、「声の広報」を届けています。

☎ 図書館

☎ 029 (897) 0647



↑「ボランティアをとおして地域のことに関心を持つようになりました」と話すキャッチボイスのみなさん

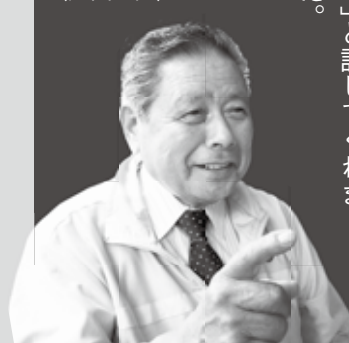
広報誌に期待するひと

## 「私」

も市民の一人として広報誌が届くのを楽しみにしています」と話すのは、平成24年度区長会長の井坂勝美さん(逆西一区)。行政区長は、広報誌や回覧などの配布、各種調査への協力、地域要望事項の取りまとめなど、市民と行政をつなぐパイプ役としての役割を果たしています。

「情報不足による誤解や理解不足はあってはならないことです。広報誌の役割は、本当に必要な情報を正しく提供することだと思っていますよ」「細かい数字や難しい説明文をぎつり埋めるだけの広報誌ではなく、行政区長や市民の声を取り入れたコーナーなど市民の皆さんの良きコミュニケーションの場となるような誌面作りに期待しています」と話してくれました。

井坂勝美さん  
(逆西一区)



《広報かすみがうら》

# みんなの声

広報誌の“読者”である市民の皆さんは、広報かすみがうらをどのように思っているのでしょうか。みなさんの声を聞きました。



毎月楽しく見えています。子育ての情報や特集をたくさん載せてほしいです。



子どもが活躍している写真を多くしてほしいですね。昔、やっていた「わが家のアイドル」を復活してほしいですね。



イベント情報(いつ・どこで・何が)がわかるページがあるといいです。マナビィも広報誌に掲載されていると参加者が増えるかな？



カラーが多く、とても見やすいですね。イベントに参加している人たちの表情が生き生きとしているのがいいですね。



毎月、自宅に届くのを楽しみにしています。知っている人が載っていると興味がわきます。



ゴミカレンダーはカラーになって、とても見やすくなったと思います。衣類など特殊なゴミの出し方が掲載されているともっと良くなると思います。

## その他の ご意見・ご要望

◎行政だけのお知らせだけでなく、地域の話や出来事をのせてほしい◎難しい言葉が多く、読みづらい時がある◎自治会に加入していないので、広報誌の発行日がわからない◎小学校の特集をしてほしい◎子育ての情報や特集をたくさん掲載してほしい◎市民にとって大切な情報だけで良いのでは？◎いろいろなジャンルで活躍している市民を紹介してほしい◎写真が多くイベントの盛り上がりを感じます◎ローカル色を大切にしたいシリーズ物など

これはちょっと・・・×

あったらいいなあ  
こんなこと